

平成20年度事務事業評価表	担当	教育委員会 体育課	内線等	3404
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	施設整備事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	4.豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	スポーツ・レクリエーション	
基本目標、施策に対する貢献度	1点 施策の達成にあまり効果がなかった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	社会体育施設、運動広場等を利用する市民、アスリートのために
手 段	施設の維持補修等の整備をすることにより
成果、目標	利用者の安全を確保するとともにスポーツ環境の整備を図る。

成果指標

成果指標名	体育施設費における施設整備事業費の割合	施設整備事業費予算額	
成果指標の説明	(施設整備事業費 / 体育施設費) × 100		
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)
成果指標	8.25%	21.32%	4.02%
成果指標	12,693,450円	37,455,600円	5,900,000円

事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
修繕料	1,335,600円	1,682,100円	1,500,000円
委託料	2,625,000円		
工事請負費	8,732,850円	35,773,500円	4,400,000円
体育施設費	153,806,803円	175,690,319円	146,914,000円
発注件数	修繕4件・委託1件・工事3件	修繕10件・工事5件	修繕3件・工事2件

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.20人	次長 課長級	0.20人	補佐級	0.00人	係長級	0.00人	一般職	0.00人	非常勤	0.00人	再任用	0.00人
-----	-------	-----------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費 を含む 事業費	事業費	37,456
	人件費	2,000
	合計	39,456
財源 内訳	特定財源	0
	一般財源	39,456

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	体育施設の整備を含む維持管理については、指定管理者制度を導入し指定管理者に維持管理を任せている施設と体育課が直接管理している施設がある。指定管理制度移行施設については、管理者が小規模な修繕を行っているが、大規模修繕及び整備工事は所有者である市が直接施工すべきである。
-------------	----	---

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	指定管理者制度の導入により原則的に30万円以下の軽微な修繕は指定管理者で施工することで体育課施設担当の業務量を軽減でき、また軽微な修繕については迅速な対応ができるようになった。
現在の課題、 問題点	体育施設は全般的に老朽化しており、現在行っている部分的な補修整備では対応できなくなってきており、全面的な改修が必要となってきているが、現在の財政状況において全面改修の予算を確保することは困難となっている。 また、利用者や指定管理者からの要望にも一部しか対応できないのが現状である。
今後の改善計画	総合計画の後期に予定されていた総合体育館整備事業は実施困難なため、体育館競技場の床を全面改修して現在の体育館を継続利用することを検討していく。 経年劣化により市民プール等の利用に際し安全性の確保が難しくなっている施設や利用頻度の低い施設について、費用対効果を考慮して、改修又は廃止の検討をしていく。